

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県	地域再生計画名	みなとまち今昔物語—漁業の力再生計画
計画期間	平成26年度～平成30年度	評価責任者	長崎県水産部漁港漁場課長、土木部港湾課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	H24	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	観光客数の増加	1,700千人	H24	1,760千人	H28	1,707千人	1,800千人	H30	1,771千人	△	2	1	平戸市の観光客数は、H28熊本地震の影響等で一時減少したが、漁業体験などの体験型観光等により観光振興の強化を図ることで回復傾向にあり、目標の達成が見込まれていた。しかしH30dに西日本豪雨や相次いだ台風による旅行キャンセル等の影響を受けたことにより目標値を若干下回った。なお、平戸市の春日集落が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産に登録されたこともあり、今後は観光客の増加が見込まれる。
	指標2	年間漁獲高の拡大	437百万円	H24	463百万円	H28	697百万円(H27)	400百万円	H30	544百万円	○	2	1	港湾と漁港を一体的に整備したことにより、漁業活動の安全性・利便性が向上され、目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H28)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	港湾施設(大島港) (神ノ浦地区) 防波堤(東) (的山地区) 物揚場(-3.0m) 物揚場(-2.0m) 道路 防波堤(改良) 防波堤(東)(改良) 防波堤(西)(改良)		55m 140m 30m 5m×70m 80m 100m 100m	35m 30m 30m 5m×0m 0m 0m 0m	35m 140m 30m 5m×70m 0m 0m 0m	防波堤など一部の整備が進まなかったが、港内静穏度向上のための外郭施設、及び漁船の作業コスト低減と安全性向上のための簡易浮体式係留施設を計画どおり整備したことにより、平戸市の漁獲高拡大及び観光客数の増加に寄与し地域活性化が図られた。								
	漁港施設(大根坂漁港) -3m岸壁(改良) 突堤(-3m)(改良)		480m 80m	480m 0m	480m 0m	突堤(-3m)(改良)については整備が進まなかったが、安全な水産物の物流、及び体験型観光における車両の安全性向上のための-3m岸壁(改良)を計画どおり整備したことにより、漁獲高拡大及び観光客数の増加に寄与し地域活性化が図られた。								
	漁港施設(薄香湾漁港) (薄香地区) -4m岸壁(改良) -3m岸壁(改良) -2m物揚場(改良) (瀬ノ浦地区) -3m岸壁(改良) (曲地区) -3m岸壁(改良)		521m 240m 180m	477m 0m 49m	521m 240m 180m	安全な水産物の物流、及び体験型観光における車両の安全性向上のための各岸壁等(改良)を計画どおり整備したことにより、漁獲高拡大及び観光客数の増加に寄与し地域活性化が図られた。								
その他の事業	テーマパーク観光プロモーション事業		平戸を季節ごとにテーマパーク化し、季節ごとの食・芸能などのイベントを「平戸藩の四季めぐり」と称しパッケージ化してPRを行い、市及び観光関係団体全体で観光客誘致を図る。			平戸藩の春めぐり(3月1日から5月31日)に始まり、平戸藩の夏めぐり(7月1日から8月31日)、平戸藩の秋めぐり(9月1日から11月30日)、平戸藩の冬めぐり(12月1日から2月28日)を実施し、観光客数の増加に取り組んでおり、引き続き実施していきたい。								
	日本の宝「しま」体感交流事業		平戸市の「しま」独自の自然や歴史遺産、人材、特産物を活用した体験活動を企画、実施し、しまの魅力を再認識するとともに、しまの人々や参加者同士の交流を深め、地域の教育力の向上やしまの活性化を図る。			ガイドによる「しま」散策や民泊などを通じ交流を深め、しまの活性化を図る活動を行っており、引き続き実施していきたい。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	関係機関に聞き取り等調査を実施し、評価を行った。													
⑤事後評価の公表方法	長崎県土木部港湾課のホームページに掲載する。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施し、平戸地域の交流拠点の整備と漁業基盤の強化を図ることで、観光客数の増加などの効果を期待している。H28年度は熊本地震の影響、H30年度は西日本豪雨や相次ぐ台風等により観光客が減少したが、それ以前の観光客数は順調に増えていたことから、港湾・漁港整備とあわせ、現在実施している漁業体験などの体験型観光をはじめとする観光振興策を強化することで、当初目標としていた観光客数の増加は見込まれるものと考えられる。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、概ね計画どおり事業進捗が図れており、観光客数は若干目標値を下回ったが漁獲高は目標値を達成できた。今後も引き続き港湾・漁港の整備を進め、さらなる地域の活性化を目指していきたい。													